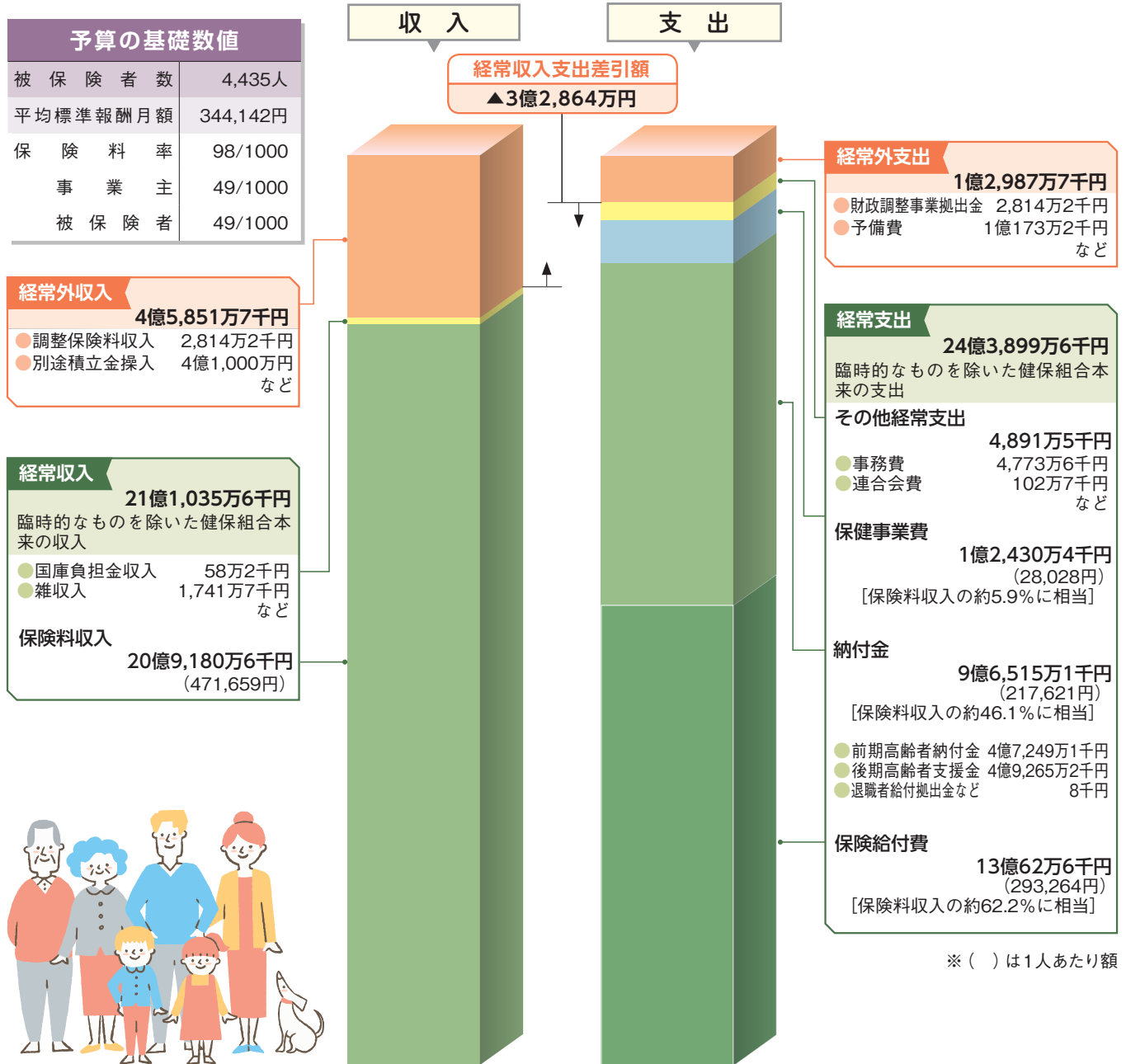


令和5年度 予算が決まりました

保険料率は健康保険・介護保険ともに据え置き



介護保険

予算の基礎数値

徴収対象第2号被保険者数	2,082人
平均標準報酬月額	360,446円
保険料率	18/1000
事業主	9/1000
被保険者	9/1000

収入

科目	金額
介護保険収入	2億219万8千円
繰入金	700万円
雑収入	3千円
収入合計	2億920万1千円

支出

科目	金額
介護納付金	2億171万3千円
介護保険料還付金	1千円
雑支出	1千円
予備費	748万6千円
支出合計	2億920万1千円

健康保険

健保組合を取り巻く状況

ますますの高齢化で、全世代型社会保障制度への転換が急務となる見通し

健保組合を取り巻く状況は年々厳しさを増しており、2025年には団塊の世代がすべて後期高齢者となることでさらなる納付金の急増が危惧されています。昨年10月より、一定所得以上の後期高齢者の医療費窓口負担割合が2割に引き上げられましたが、現役世代の負担軽減効果は不十分です。少子高齢化にも歯止めがかからず、2042年には高齢者人口がピークを迎える一方で、国民皆保険制度の支

え手である現役世代の人口は減少が続いています。国民皆保険制度の持続性確保のためにも、全世代型社会保障制度への転換が急がれます。

当健保組合ではこのような社会の方向性に適切に対応しつつ、みなさまの健康管理・健康づくりを支える事業を推進してまいります。

令和5年度予算の状況

経常収支は3億2,864万円の大幅な赤字

令和5年度は、給与体系の変更に伴い、平均報酬月額はやや増額となるものの、総標準賞与額が減少することから、主な収入である保険料については、前年度比2,122万3千円減を見込んでいます。

一方、支出においては、医療費などの保険給付費は、年々増加を続け、前年度比1億2,067万3千円増を見込んでいます。高齢者医療制度にかかる納付金は、「前期高齢者納付金」が前年度比6,421万5千円減、「後期高齢者支援金」が前年度比1,781万4千円増を見込んでおり、トータルで前年度比4,640万9千円減となる見込みです。

これらを差し引きした結果、経常収支では

3億2,864万円の大幅な赤字となりますが、別途積立金より4億1千万円を繰り入れることにより収支の均衡を図っています。

令和5年度は第2期データヘルス計画が6年目となります。引き続き、効果的な保健事業を展開してみなさまの健康保持増進を積極的に支援させていただきます。みなさまにおかれましても保健事業をご利用いただくとともに日頃から健康づくりに励まれ、また受診の際には、かかりつけ医を持つなど適正に受診していただき、ジェネリック医薬品の積極的な利用、そして日頃の健康管理に留意して、医療費の節減にご協力いただきますようお願いいたします。

介護保険

令和5年度予算の状況

介護保険料率は1.8%で据え置き

介護納付金の計算方法が、加入者数をもとに計算する「加入者割」から加入者の総報酬額をもとに計算する「総報酬割」に平成28年度から段階的に移行し、令和2年度から全面「総報酬割」となりました。

単年度での収支均衡を図るため、令和元年度において介護保険料率を18/1000に引き上げたところですが、令和5年度においても単年度での収支均衡が図れることから、介護保険料率についても据え置くこととしました。

先の組合会において、当健保組合の令和5年度予算と事業計画が可決・承認されましたので、その概要をお知らせします。